太洋電機産業製 PX-201+5C

Gootのブランドで知られている半田ごてのメーカー品です。
http://www.goot.co.jp/index_j.html

特徴と使用方法

高性能セラミックヒーター採用の温度調節機能付はんだごてです。

型番	PX-201
電圧 / 消費電力	100V / 70W
設定温度範囲	250～450℃
全長	210mm （コード部分除く）
重量	約 90g
絶縁抵抗(500VDC)	100MΩ 500V DC
電源コード	2芯

●温度設定はどのように行うのですか？また最初はどの位置に合わせたらいいのでしょう？

出荷段階では、温度設定の矢印が250℃付近に設定されています。マイナスドライバーなどで時計回りに380℃付近まで動かしてから使用開始し、その後ご自分の作業スピードにあった温度をご自分で見つけ、その温度設定にてご使用ください。

●温度設定のダイヤルのところが、グラグラになって来ました。この部分の交換は出来るのでしょうか？

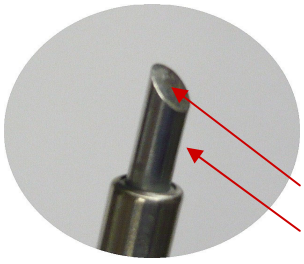
温度設定のつまみは、「設定温度を変えるため1日のうち何回も動かす」ということを想定した設計にはなっていません。また繊細な部品ですので、無理な力で250℃の位置から左に回したり、450℃の位置から更に右に回すと破損する恐れがあります。
頻繁に設定温度を変えながら作業をしたいという場合は、温度調節ダイヤルが独立した形のミニステーション半田ごてPX251：¥12,800-を オススメします。
コテ先はPX201とPX251は共通です。 （右画像）→

●半田作業中に、にぎり部分のランプが付いたり消えたりしますが、大丈夫でしょうか？

この半田ごてはセンサーが内蔵されており、温度が低いと通電してヒーターを暖め、設定温度に達すると電気を切断する仕組みになっていますので、設定温度に達するとその温度を保つため点滅を繰り返します。

●コテ先の先端部分でしか、半田が溶けません。

この半田ごては、もともと電子部品に使う鉛フリー半田用に作られています。そのため余分な半田がつかないようにコテ先に半田がのる部分と、のらない部分を作っています。右画像の5Cの場合は、ナナメカットの部分だけにしか半田がのりません。
カット部分だけでなく、その周囲にも半田をのせての作業をご希望の方は、別売りの全周はんだタイプのコテ先PX-2RT-5CR をご注文ください。¥735- （標準のものはPX-2RT-5C）



●替えのコテ先には、どんなものがありますか？

パッケージ裏面にコテ先の一覧表がありますので、ご覧ください。

●コテ先が黒ずんできて、半田がきれいにのりません。

コテ先が酸化すると、半田がまとわり付いたり、逃げたりします。
そのような場合はケミカルペースト（8963：¥600-）
で、酸化被膜を除去してください。 使用法 →

http://www.hakko.com/japan/hint/kotesaki.html